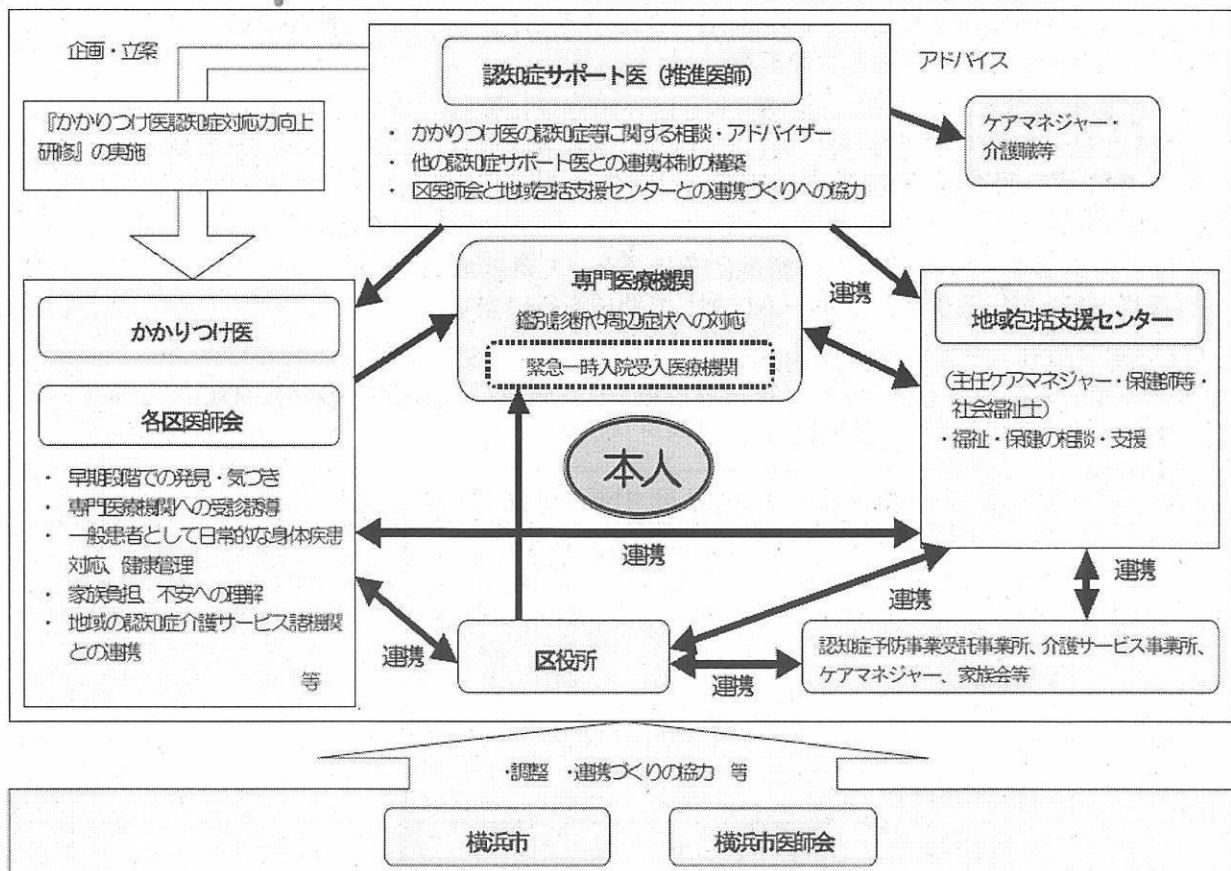


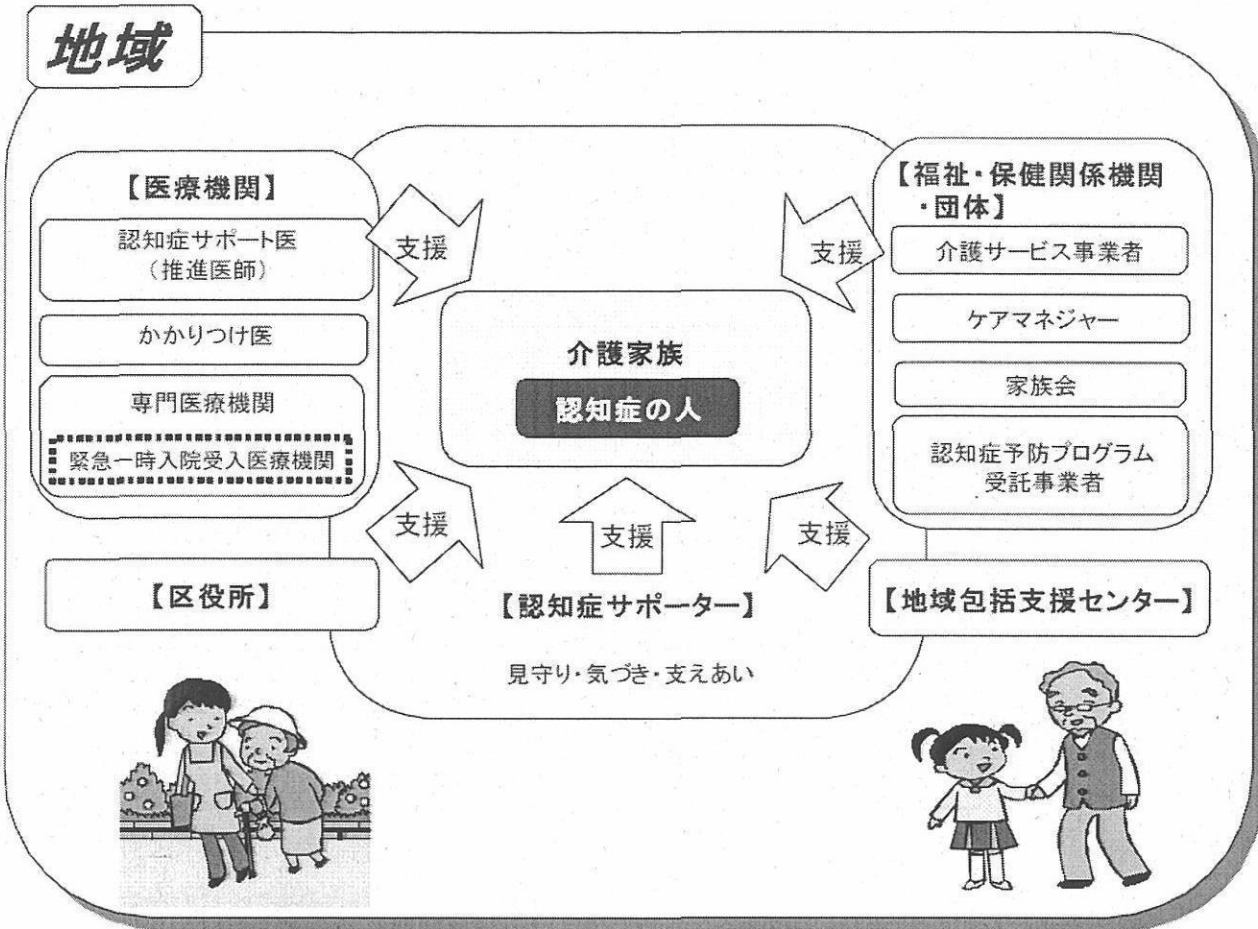
# 認知症のお年寄りを支えるための課題

認知症に関する知識の普及啓発を進めるとともに、市民・サービス提供事業者・医療機関・地域包括支援センター等がそれぞれの役割に応じた取り組みを進め、地域における認知症高齢者等を総合的に支援する体制を構築することが課題

介護が必要な方を地域で支えるため、小規模多機能サービスやグループホームなどの介護基盤の整備を早急に進めていくことが必要

かかりつけ医が参画した早期からの認知症高齢者支援体制のイメージ





<基本的な方向3>

～自分に合った施設・住まいが選べるために～

目標

一人ひとりの状況に応じた施設や住まいで、自分らしく安心して生活することができる環境づくりを進めます。



施 策 の 展 開

1 特別養護老人ホーム等施設の整備

- 特別養護老人ホームは、入所の必要性・緊急性の高い申込者が、概ね1年以内に入所できる水準を維持するため、年間300床（23～26年度）の整備を進めるとともに、施設の地域偏在への対応と医療的ケアの充実をはかります。
- 日常生活圏域を単位として、未設置圏域（40圏域程度）への認知症高齢者グループホームの計画的な整備を推進します。（21～26年度に年間6～7か所整備）
- 特定施設（有料老人ホーム等）については、重度化対応、低料金、立地状況など、横浜市が期待する役割やニーズに対応した施設整備の誘導を進めます。

2 高齢者の多様な住まい方への支援

- 既存の公的賃貸住宅の空き地・空き施設の活用等により、見守りなど福祉施策との効果的な連携による高齢者生活支援サービス拠点の整備を検討・実施します。
- 一人暮らし高齢者等が、医療や介護サービスを受けながら安心して暮らせる、グループリビング等新たな生活の場の確保に向け、国の交付金を活用したモデル事業を行います。
- 有料老人ホームや高齢者向け賃貸住宅等においても、適切なサービスが提供され、高齢者がいつまでも安心して暮らし続けることができる安心・安全な居住環境を確保します。

介護保険施設等の整備目標

(床)

		第3期の実績			第4期計画		
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
特別養護 老人ホーム	年度末整備数	9,617	9,937	10,800	12,487	13,307	13,607
	増床数	805	320	863	1,687	820	300
	うち小規模特別養護 老人ホーム	0	0	113	0	0	0
介護老人 保健施設	年度末整備数	8,117	8,369	8,715	9,565	9,565	9,565
	増床数	514	252	346	850	0	0
介護療養型 医療施設	年度末整備数	1,254	1,046	902	902	902	902
	増床数	▲ 107	▲ 208	▲ 144	0	0	0
認知症高齢者 グループホーム	年度末整備数	3,740	4,136	4,452	4,578	4,704	4,830
	増床数	648	396	316	126	126	126
特定施設 (有料老人ホーム等)	年度末整備数	8,384	8,966	10,129	10,329	10,529	10,729
	増床数	1,283	582	1,163	200	200	200
計		31,112	32,454	34,998	37,861	39,007	39,633

19

**3 第5期介護保険事業計画**  
**～認知症支援策の充実が重要課題に～**

20